

やまぐち地域社会研究

The Journal of
Yamaguchi Area Studies

山口地域社会学会

The Association for
Yamaguchi Area Studies

2 0 2 3

2 1 号

やまぐち地域社会研究

2023

第21号

目 次

【論文】

教育機会確保法にみるフリースクールの運営課題の解決	王 美玲……………	1
山口県文書館所蔵の香典帳の基礎的分析	山口 睦……………	17
シャインマスカット効果 ——都市化やマッチングアプリが婚活にもたらす光と影——	高橋征仁……………	37
鈴木広の社会学 その3：九州大学で萌芽した「社会移動の研究」	三浦典子……………	53

【研究例会報告】

山口地域社会学会誌編集規定

- 1 本誌『やまぐち地域社会研究』は1年1巻として発行する。
- 2 本誌は原則として本学会会員の社会学関連の研究及び山口地域社会に関する研究の発表にあてる。
- 3 本誌の掲載原稿は、投稿原稿と依頼原稿とからなる。
- 4 投稿原稿に対しては査読をおこなう。大学院生は指導教員の査読後提出のこと
原稿締め切りは1月中旬
- 5 オフセット印刷に耐えるような完全原稿3部と電子ファイルを提出する。
 - a オリジナル原稿には、ページ番号を印字しない。そのかわりに、各頁の右上隅に鉛筆で記入する。
 - b 論稿とは別紙に、論文タイトル(和文と欧文)、著者名、所属、E-mail アドレスをいれる。
- 6 原稿の書式は『社会学評論スタイルガイド』にしたがうこととする。基本的な原則は以下のとおりである。
 - a 原稿はA4判 横書き 40文字×36行 図表とも16頁以内(400字52枚程度)、1頁目初頭の5行を、論文タイトル、著者名分として空欄とする。
 - b 上下左右のマージン(余白)を、以下に設定して下さい。

上マージン	35mm	下マージン	30mm
左マージン	30mm	右マージン	30mm
 - c 本文の字体は明朝体とし、文字サイズは10.5ポイントとする。
 - d 注と文献リストを別にする。本文、注等における参考文献の表示の仕方は、著者名(発行年: ページ数)、または、(著者名 発行年: ページ数)とする。
 - e 参考文献は、著者名、発行年、題名、出版社の順に記述すること。欧文の書名はイタリック体にするか、または下線を引くこと
 - f 注は、本文中の該当箇所の右肩に上付き文字で順に¹⁾と番号をうち、注自体は本文の後にまとめて記載する。
- 7 本誌『やまぐち地域社会研究』に掲載された論文等を、山口大学学術機関リポジトリYUNOCAを通して公開する。
- 8 投稿先

〒753-8540

山口市吉田 1677-1 山口大学人文学部 山口地域社会学会事務局

*編集委員会からのお願い

基本的な書式で書かれていない原稿は受け付けないことがありますので、ご注意下さい。

『やまぐち地域社会研究』編集委員会

編集委員長: 三浦典子

編集委員: 辻 正二、坪郷英彦、横田尚俊、高橋征仁、速水聖子、谷部真吾、
小林宏至、山口 睦、桑畑洋一郎

編集事務局: 大谷泰子、瀬崎譲廣

やまぐち地域社会研究 21 号

2024 年 3 月 31 日発行

発行・編集 山口地域社会学会

責 任 者 横田尚俊

〒753-8540 山口市吉田 1677-1

山口大学人文学部山口地域社会学会事務局

印 刷 (有)三共印刷

The Journal of Yamaguchi Area Studies

2023

No.21

CONTENTS

THESES

Solving the management issues of free schools as seen in the Act on Securing Educational Opportunities Equivalent to General Education at the Compulsory Education Stage

WANG Meiling 1

Basic analysis of the condolence books held by Yamaguchi Prefectural Archives

YAMAGUCHI Mutsumi 17

The Shine Muscat Effect :

Examining the Effects of Urbanization and Dating App Use on Mating Preferences from Both Sides

TAKAHASHI Masahito 37

The Sociology of “Suzuki Hiroshi” Part3 :

“The Study on Social Mobility” Sprouted at Kyushu University

MIURA Noriko 53

The Report of Regular Meeting

The Association for Yamaguchi Area Studies

ISSN 1349—5054